

第15回日野川水系大規模氾濫時の減災対策協議会(国)
第15回鳥取県西部地区 流域治水及び減災対策協議会(県)
〔同日開催〕

説明資料1

日時:令和8年6月5日(金)午後2時00分～
場所:日野川河川事務所別館2階大会議室
(一部オンライン会議併用)

次 第

1. 開会

2. 議事

(1) 令和8年出水期の天候の見込みと気象情報の改善について

(2) 一級河川日野川水系における大規模氾濫時の減災対策にかかる取組みに
ついて

(3) 令和7年度・令和8年度の減災に係る取組について

(4) 二級水系流域治水プロジェクトについて

・各機関の取組について

(5) 情報提供・意見交換

3. 閉会

(1) 令和8年出水期の天候の見通しと 気象情報の改善について

気象台資料を用いて説明

(2) 一級河川日野川水系における大規模氾濫時の 減災対策にかかる取組みについて

国資料を用いて説明

(2) 令和7年度・令和8年度の減災に係る取組について

(3) 令和7年度・令和8年度の減災に係る取組について

県

- 平成29年度に当初策定した『減災に係る取組方針(第1期)』の対象期間(5年)が令和3年度に経過
- 令和4年度にこれまでの取組状況等を踏まえて、第2期目となる『減災に係る取組方針』(対象期間:R4～R8)を策定した。毎年、取組状況をフォローアップしていく。

平成27年9月 関東・東北豪雨災害(鬼怒川の洪水氾濫)

平成27年12月 社会資本整備審議会答申

「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で洪水氾濫に備える必要がある

平成27年12月 「水防災意識社会再構築ビジョン」

ポイント ①より実効性のある「住民目線のソフト対策」 ②「洪水氾濫を未然に防ぐハード対策」に加え、「危機管理型ハード対策」 ③地域一体の取組

平成28年8月以降 相次いで発生した台風による豪雨災害(岩手県小本川などの洪水氾濫)
中小河川においても甚大な被害が発生

平成28年11月 「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組を都道府県管理河川に拡大

平成29年5月18日 第1回 減災対策協議会『千代川圏域県管理河川の減災対策協議会』設立

平成30年2月7日 第2回 減災対策協議会『千代川圏域県管理河川の減災に係る取組方針(第1期)』策定

5年間で達成すべき目標 河川整備率が低く、また、急流河川で水位上昇が急激な県管理河川の特性を踏まえ、発生しうる大規模水害に対し、ハード整備とソフト対策が一体となったとっとりらしい防災・減災対策に取り組み、「地域防災力の強化」「安全・安心で活力ある地域づくり」を目指す。

達成に向けた3本柱の取組 ①鳥取県の強み「支え愛」による地域防災力の強化
②鳥取方式による地域と一体となった効率的な水防・河川管理の実施と治水対策
③住民の避難を促す鳥取県の実情を踏まえた水害リスク情報等の提供

令和元年5月29日 第5回 減災対策協議会 **取組方針一部改正** 平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難の有り方研究会の提言等を追加

令和2年5月27日 第6回 減災対策協議会 **取組方針一部改正** 令和元年「水防対策検討会」及び「防災避難対策検討会」に係る提言等を追加

令和4年5月26日 第10回 減災対策協議会 **第2期取組方針策定**

※毎年協議会で取組状況をフォローアップ

5年を
目途に
策定

減災のための目標

第2期(R4～R8)

5年間で達成すべき目標

河川整備率が低く、また、急流河川で水位上昇が急激な県管理河川の特性を踏まえ、発生しうる大規模水害に対し、ハード整備とソフト対策が一体となった、とっとりらしい防災・減災対策に取り組み、「地域防災力の強化」「安全・安心で活力ある地域づくり」を目指す。

達成に向けた3本柱の取組

- ①鳥取県の強み「支え愛」による地域防災力の強化
- ②鳥取方式による地域と一体となった効率的な水防・河川管理の実施と治水対策
- ③住民の避難を促す鳥取県の実情を踏まえた水害リスク情報等の提供

※引き続き、平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難対策のあり方研究会・令和元年台風19号、令和5年台風7号を受けての鳥取県水防対策検討会等の結果を踏まえた取組を推進する

- ・ 令和8年度が第2期の最終年度
- ・ 完了事業や継続する取り組みを整理し第3期取組方針を策定する

取組1 河川・堤防機能の脆弱性評価を活用したハード対策の推進

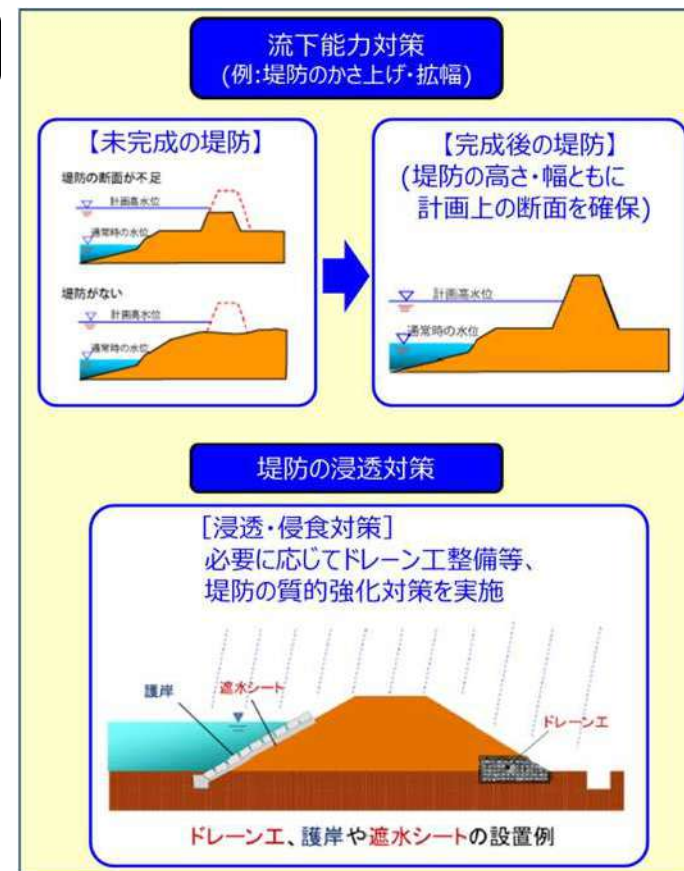
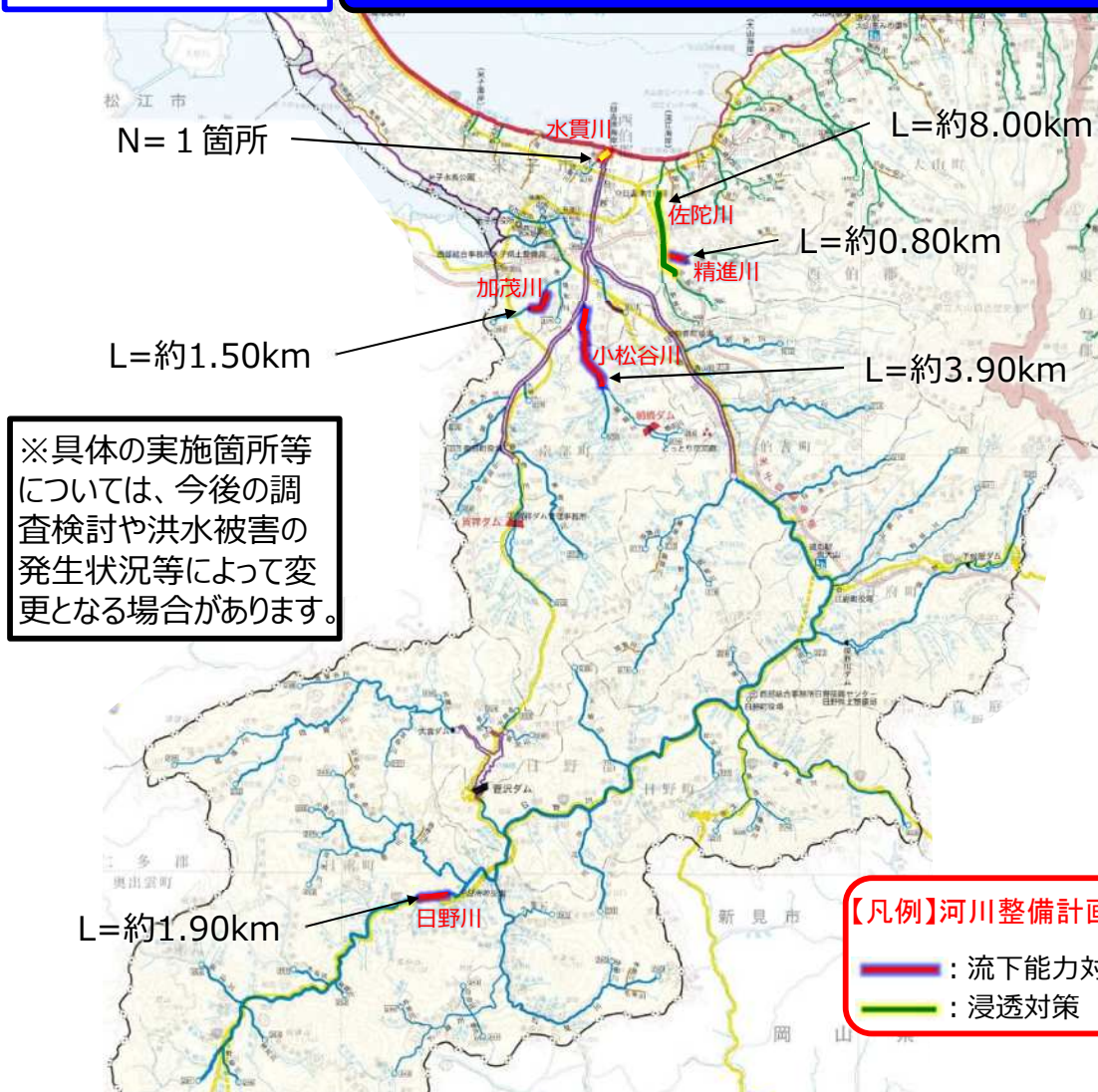
継続実施

県

河川整備計画に基づき、治水対策を着実に推進していく。

日野川圏域

洪水を未然に防ぐためのハード対策 概要図



【凡例】河川整備計画等に基づき取組を進める箇所

：流下能力対策
：洪水処理対策
：浸透対策

(指定区間外)	(指定区間)	二級河川	準用河川	ダ(鳥取県)	ダ(鳥取県)	海岸保全区域	海岸保全区域	海岸保全区域	海岸保全区域	海岸保全区域
被定河川	被定河川	二級河川	準用河川	ダ(鳥取県)	ダ(鳥取県)	海岸保全区域	海岸保全区域	海岸保全区域	海岸保全区域	海岸保全区域

○小松谷川(米子市青木付近)における流下能力対策工事を重点的に実施中。

河川の氾濫リスクの軽減を目的として、治水安全度を計画的に向上させるために必要な**樹木伐採・河道掘削**を防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策、緊急浚渫推進事業債の予算を活用しながら、**計画的に実施**してきたところであり、**台風第7号において、人的被害がなかったことはこれまでの取り組みの成果。**

【令和7年度実施箇所】

小田川(岩美町院内)、国府川(倉吉市服部)、日野川(日野町中菅)外

【令和8年度実施予定】

砂田川(鳥取市東大路)・有富川(西今在家)外、八東川(八頭町万代寺～米岡)、新加茂川(米子市長砂)・阿弥陀川(大山町神原)外、印賀川(日野町福長)外

予算推移



＜実施要件：5か年加速化対策＞(R3年度※R2国補正前倒し～R7年度)

- ①流域治水(事前防災)の位置づけで実施され一定の効果を見込める箇所
- ②次のいずれかに該当する河川
 - ・毎年度実施する維持的な伐開・掘削以外の箇所
 - ・近年浸水実績があった場所
 - ・河川背後や浸水想定区域内に家屋、重要施設がある箇所
 - ・鳥取方式洪水浸水リスク図の浸水範囲等

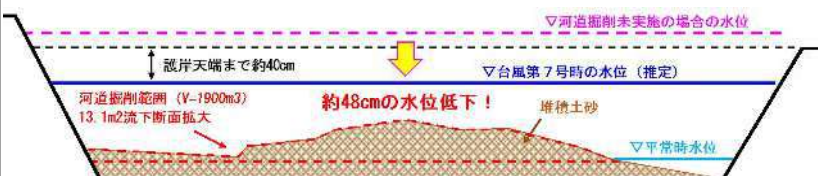
＜実施要件：緊急浚渫事業債＞(R2年度～R11年度)

- ①県管理河川は全ての箇所が対象※個別計画の提出が必要

効果事例

佐治川 おおい
(鳥取市佐治町尾際)

令和5年
台風第7号襲来時



令和7年度 実施事例

小田川(岩美町院内)



国府川(倉吉市服部)



日野川(日野町中菅)



取組3 「鳥取方式」浸水リスク図の公表(済)及び 中小河川浸水想定(想定最大規模)について

R1完了・継続実施

県

水位周知河川等以外の県管理河川を対象に、県民皆様の適切な避難行動への一助とすることを目的として、「鳥取方式」浸水リスク図※1を公表済み。(※1シミュレーションの対象降雨は計画規模(1/50 以下は一律 1/50))
また、令和3年の水防法改正により、水害リスク情報の空白地帯解消を目的に、**想定最大規模での浸水想定区域図及びハザードマップの公表が全ての一級・二級河川や下水道に拡大された。**
浸水想定は令和7年度まで、ハザードマップは令和8年度までの完了を目標※2としている。

※2 令和5年度から浸水想定作成のためのシステムを構築中です。

■水害リスク情報の空白域において浸水被害が多発

・令和元年東日本台風では、堤防が決壊した71河川のうち43河川(約6割)、内水氾濫による浸水被害が発生した135市区町村のうち126市区町村(約9割)が水害リスク情報の空白域。



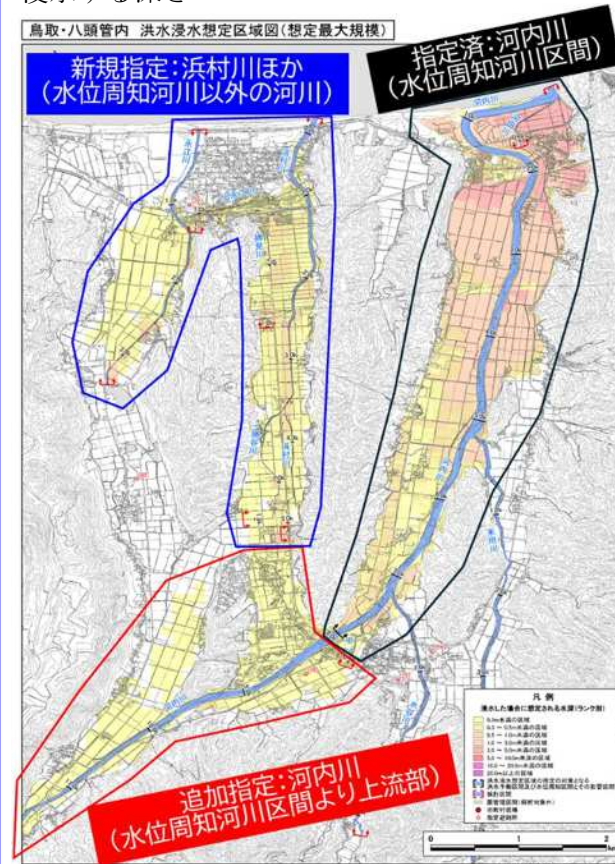
■水防法を改正し、浸水想定区域の指定対象を拡大

・河川(洪水浸水想定区域)では約15,000河川、下水道(雨水出水浸水想定区域)では約1,000団体が新たに指定対象として追加。



<公表内容の事例>

想定最大規模の降雨(確率規模約1/1000)時に浸水する深さ



●この度、県管理河川(294河川)のうち沿川に家屋等の防御対象がある279河川について、解析・とりまとめが完了し、関係市町村への説明も終えたことから、**水防法14条の規定に基づき指定・公表を行った。(告示、公表日: 令和8年3月31日)**

➤ スケジュール

OR6~7年度

・県が対象279河川の洪水浸水想定図を作成し公表

OR8年度以降

・各市町村が、洪水浸水想定区域図をもとに、ハザードマップを作成予定

➤ 公表先

鳥取県河川課HP

<https://www.pref.tottori.lg.jp/303920.htm>



取組 4 地域の支え愛マップづくりを通じた地域防災力向上

支え愛マップの取り組み支援等について、次のような取り組みを実施している。

①支え愛マップづくりインストラクター養成研修

【目 的】マップづくりの推進役として自治会等を支援するスタッフを育成する。

【対象者】市町村社会福祉協議会職員、市町村職員、防災士等

【R7実績】(内容)マップづくり体験、個人情報保護法の基礎、災害情報の取得、まちあるきのポイント、ファシリテーションスキルの習得、地域アセスメントについて

(参加者数)188名

(開催日・場所)7/31鳥取県立福祉人材センター、8/4米子コンベンションセンター
8/5、9/8倉吉福祉センター、10/16倉吉体育文化会館

②支え愛マップづくりの取組状況

【目 標】1, 100地区(R9年度末)

【実 績】1, 063地区(R7年度末) 【R7実績】新たに59地区が作成

【取組時に活用いただきたい動画(県社協作成)】

支え愛でまちづくり！～「支え愛マップ」でつながる地域～

<https://www.youtube.com/watch?v=HaDYnCUTO9w>(YouTubeにて公開) ～「支え愛マップ」でつながる地域～



取組状況



支え愛マップ作成状況



支え愛マップ完成

マップを活用した避難訓練や救急救命研修を実施



⇒水害・土砂災害に備え、防災・土木部局が連携して、自治会等に安全な避難場所・経路等について助言するとともに、マップを活用した訓練の実施をサポートしながら、地域防災力の強化を図っていく。

あんしんトリピーメール・防災アプリ「あんしんトリピーなび」

県

県内の防災・危機管理情報をいち早くお届けします。いざというとき必要な情報を受け取れるようあらかじめ登録・ダウンロードをしておきましょう。

■欲しい情報が選べます

 気象警報・注意報 大雨警報、大雪警報、大雨特別警報 等	 公共交通情報 列車の運休、航空機の欠航 等
 地震情報 震度3以上	 道路情報 道路の通行止め 等
 津波情報 大津波警報、津波警報、津波注意報	 ライフライン情報 停電情報 等
 気象情報 土砂災害警戒情報、竜巻注意情報 等	 生活・健康情報 黄砂、熱中症警戒アラート、感染症情報 等
 防災・危機管理情報 避難情報(避難指示等)、国民保護情報	 防犯情報 不審者、行方不明者情報 等

■登録・ダウンロード無料

メール受信、ダウンロードにかかる通信費は利用者の負担となります
※通信費は携帯会社との契約内容によって異なります

■登録方法はこちら

県の公式ホームページ（とりネット）で登録・ダウンロード方法をご案内しています
以下のQRコードを読み取ると該当ページにアクセスできます

■あんしんトリピーメール



■防災アプリ
あんしんトリピーなび



あんしんトリピーメール

登録された方の携帯電話やスマートフォンに電子メールでお知らせするサービスです。

■テキスト版と背景色版が選べます

背景色版では、内容によってメール本文の背景色が変わります

赤▶気象特別警報、気象警報の発表や避難情報、国民保護情報など

黄▶気象注意報の発表、通行止め発生情報、生活・健康情報など

青▶気象警報・注意報の解除、通行止め解除情報、停電復旧情報など



防災アプリ（あんしんトリピーなび）

鳥取県が提供する総合防災アプリです。

多言語
対応

■お知らせを一覧で表示

あんしんトリピーメールで配信される防災情報を表示します（プッシュ通知も可能）

■最寄りの避難所等を自動リストアップ

マップで現在地からの経路を自動表示します

■河川・道路状況のライブ画像

河川水位や道路の積雪等の状況を確認できます

■多言語表示に対応

端末の設定言語に応じてアプリ内の表示言語が切り替わります

対応言語

英語、中国語（繁体字）、
中国語（簡体字）、韓国語、
ロシア語、ベトナム語、
フィリピン語、タイ語、
インドネシア語



複数のシステム・サイトで分散して提供されている**防災情報を集約したポータルサイト**です。
 (R6.6公開、R7.4機能追加)。
 速やかな情報発信により県民に対して適時的確な避難行動を促します。



スマートフォンでも閲覧
しやすいデザイン



防災情報の一覧表示

あんしんトリピーメールで配信される防災情報を表示します。

気象警報などの防災情報を地図上で重ね合わせて表示

地図上で重ね合わせて各種防災情報を表示することで、緊急時にも使いやすく、分かりやすい形で情報を提供します。

アクセス集中時の安定稼働

サイトへのアクセスが集中した時でも安定して動作するサイトです。

防災情報

- ・気象
- ・停電
- ・公共交通
- ・通行規制
- ・お知らせ
- …など

地図表示

- ・気象警報
- ・道路監視カメラ
(ゆきみちナビ)
- ・河川監視カメラ
- ・ダム、河川水位
- ・雨量
- ・積雪深

取組7、8 河川監視カメラ、水位計の設置状況

継続実施

県

- 重要水防区域や洪水の恐れのある箇所、河川背後地の状況や簡易浸水想定の結果等を踏まえ、河川監視カメラや量水標、水位計等を必要な箇所に継続して設置していく。

【設置状況】（R8. 3時点）

河川水位計 : 70局
危機管理型水位計 : 103基
河川監視カメラ : 175箇所

※R8年度は、河川監視カメラ 1 基箇所設置予定

公開サイト

鳥取県防災情報ポータル（鳥取県危機管理部提供）

<https://tori-bousai.jp/>

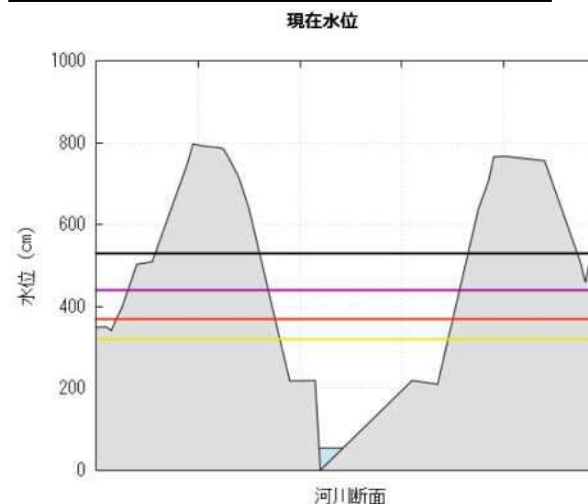
※河川課の河川監視カメラ提供システム、道路企画課の雪みちナビ等を集約したサイトを構築したもの



監視カメラ画像：大路川（鳥取市吉成）



水位計画像：大路川（鳥取市吉成）



危機管理型水位計の設置事例：江東川（大山町清原）



【危機管理型水位計の課題】

2～3年での修繕事例が多く、本体交換の事例も必要
（設置費用は安価だが、維持管理費用が増加する場合もある）

- 平成30年7月豪雨により愛媛県の肱川(ひじかわ)の野村ダム・鹿野川ダムなど多数のダムで、計画規模を上回る降水により異常洪水が発生し、下流域で氾濫被害が発生した。
- 鳥取県ではこの事象を教訓に、「平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難対策のあり方研究会」を設置し、とりまとめた内容を踏まえ、「豪雨災害での犠牲者ゼロ」を目指してハード・ソフト対策を進めている。 ※研究会ではダムだけではなく、防災意識醸成、避難体制等についてもとりまとめ

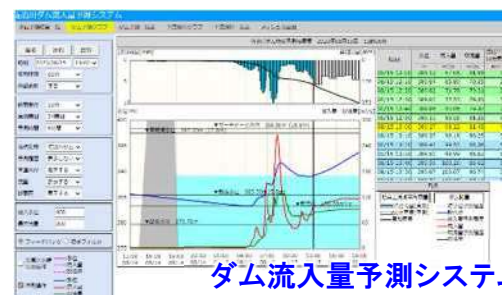
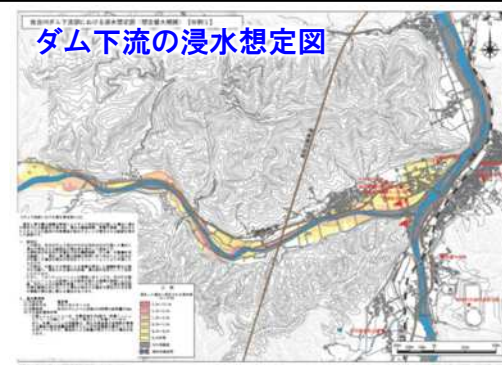
＜とりまとめた「ダム放流の安全・避難対策」と⇒進捗＞

■継続した取組が必要な対策

- ・ ダム放流時の安全な避難体制について関係者で協議を進める
- ・ 堆砂対策の推進 ⇒ ダム再生事業として検討中
- ・ ダム機能、ダムの放流リスクの住民周知
⇒ 住民説明会や避難訓練の実施
- ・ 防災リーダー育成、避難タイムライン作成、避難訓練の実施

■うち比較的短期間に実施できる対策

- ・ 利水調整関係者協議と事前放流の積極的実施に関する利水調整
⇒ 構造的に事前放流が可能な県内全てのダムで令和2年8月までに「治水協定」を締結済み
- ・ ダム流入予測システムの導入
⇒ 令和2年度に導入し、令和4年6月に本格運用開始
(佐治川ダム、賀祥ダム)
- ・ ダム下流部の浸水想定区域図の作成 ⇒ 令和3年6月公表
(公表までに住民説明を実施)
- ・ 水位計、ライブカメラの設置、警報車からのアナウンス改善等
あらたな情報配信の検討⇒ 水位計、ライブカメラの増設
警報局の増設と放送文の改善



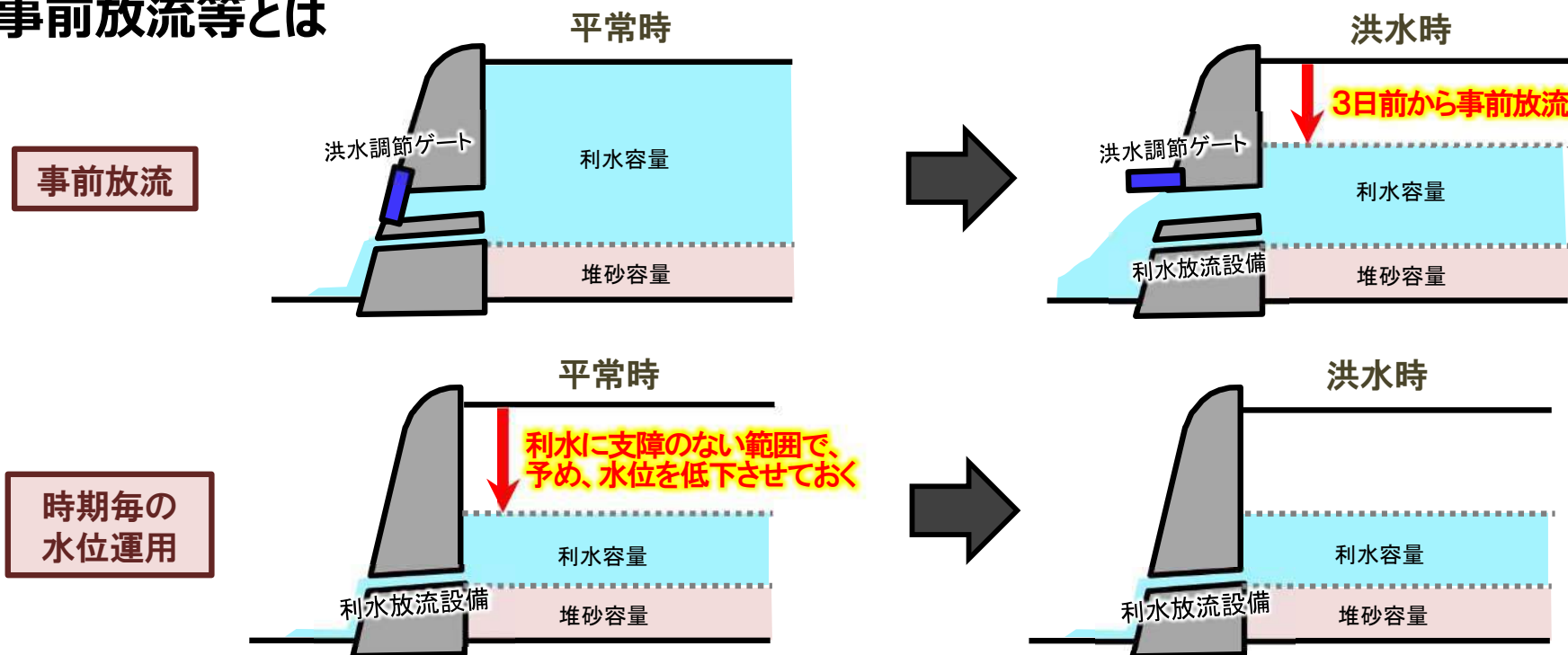
別府、下古用瀬、用瀬3～5区地区雨量不足改善



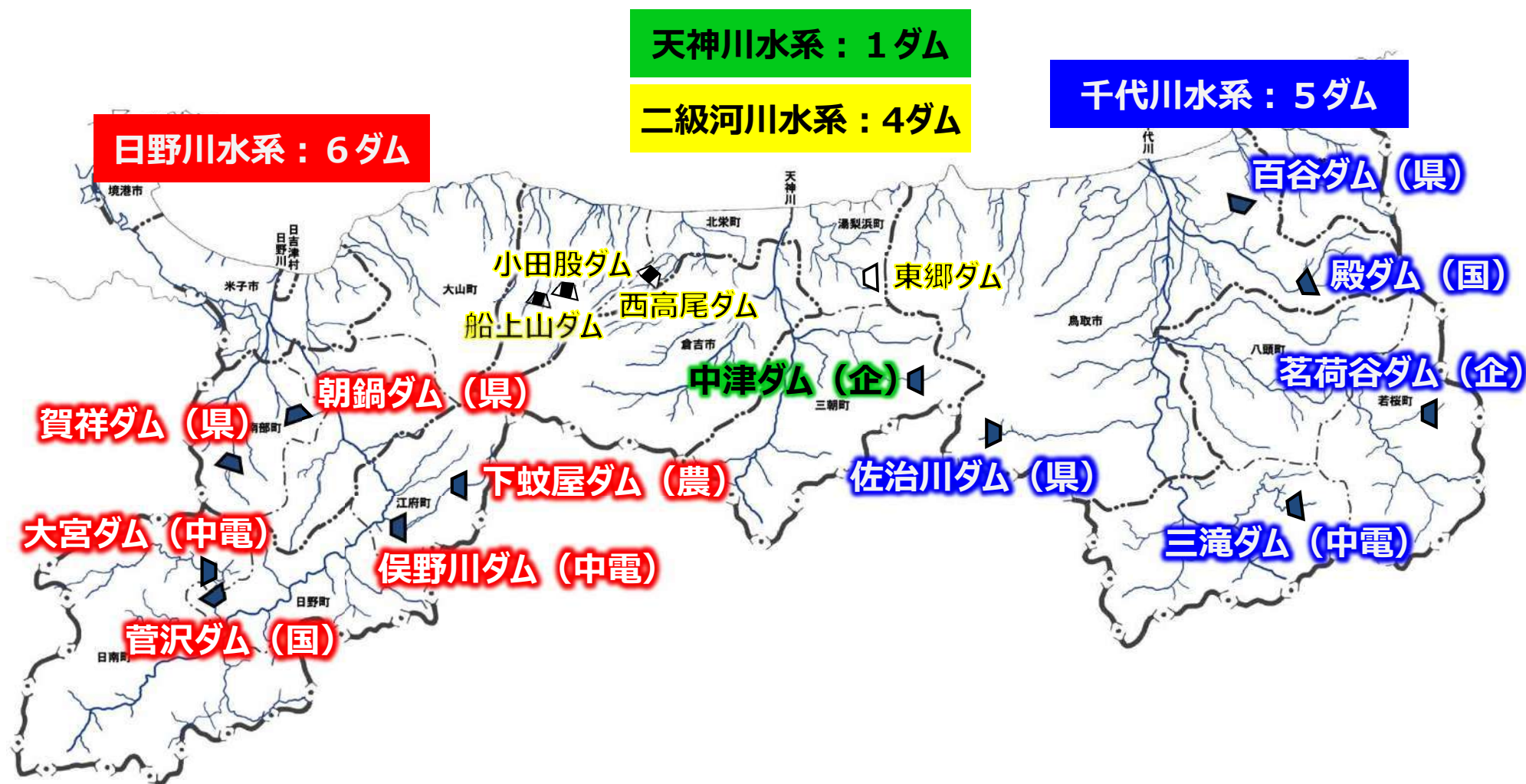
既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

- ◎ 令和元年東日本台風を受け、令和元年12月、政府は、『既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針』を打ち出しました。これにより、
 - ① 全国全ての既存ダム(治水ダム・利水ダムともに)で『事前放流等』を実施する。
 - ② 水系毎に、河川管理者・ダム管理者・関係利水者が一同で、事前放流等の方法等を記した『治水協定』を締結する。 ことになりました。
- ◎ 鳥取県内では、全てのダムにおいて治水協定を締結し、事前放流による洪水調節機能の強化を図っています。

事前放流等とは



既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組



既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

県
国

ダムの諸元						事前放流の内容※注	
水系	ダム名	管理者	有効貯水容量 (a+b)	洪水調節容量 (a)	利水容量 (b)	基準 降雨量	洪水調節 可能容量
日野川	菅沢ダム	国交省	1,720万m ³	【7月】 250万m ³ 【8月】 680万m ³ 【9月】1,650万m ³ 【10月】 510万m ³ 【ほか】 160万m ³	【7月】 1,470万m ³ 【8月】 1,040万m ³ 【9月】 70万m ³ 【10月】1,210万m ³ 【ほか】 1,560万m ³	241mm	104.2万m ³
“	賀祥ダム	県	669万m ³	330万m ³	339万m ³	別途運用	182万m ³
“	朝鍋ダム	県	119万m ³	64万m ³	55万m ³	—	26.5万m ³
“	俣野川ダム	中電	670万m ³	—	670万m ³	251mm	670万m ³
“	大宮ダム	中電	31.9万m ³	—	31.9万m ³	241mm	31.9万m ³
“	下蚊屋ダム	農水省	344万m ³	—	344万m ³	—	26.4万m ³

(※注) ① 累計降雨量が基準降雨量に到達することが予想される場合、3日間で、洪水調節可能容量の範囲内で事前放流を実施する。

② 朝鍋ダムについては、「時期毎の水位運用」とする。

安全・確実な住民避難につなげるための防災対策

日野川圏域における取組状況（R8年度以降も継続）

【防災避難対策（ソフト対策）】

「防災教育」の実施

- 【令和3年度】 八郷小（伯耆町）、会見小（南部町）
- 【令和4年度】 会見小（南部町）、箕蚊屋小（米子市）
- 【令和5年度】 車尾小・就將小・箕蚊屋小（米子市）、大山小（大山町）
- 【令和6年度】 消防学校（米子市）、二部小（伯耆町）、大山小（大山町）
- 【令和7年度】 二部小、八郷小（伯耆町）大山小（大山町）、会見小（南部町）



「河川監視カメラ・低コストの水位計」の増設

令和7年度までの実施状況

- 【河川監視カメラ】 33箇所（加茂新川（米子市）ほか）
- 【危機管理型水位計】 20箇所（加茂川放水路（米子市）ほか）

令和8年度以降

- 【河川監視カメラ】 朝鍋ダム（南部町）ほか
- 【危機管理型水位計】 必要に応じて追加設置

【河川監視カメラ】
宇田川
（米子市淀江町）



【水防対策（ハード対策）】

●堤防強化



令和7年度までの実施状況

バックウォーター区間、重要水防区域A、Bにおける堤防舗装

（小松谷川・北方川・絹屋川（南部町）、佐陀川・精進川・野本川（米子市）、清山川（伯耆町））

令和8年度以降

重要水防区域B、Cにおける堤防舗装
（絹屋川ほか）

●排水機場整備

・水貫川で整備中



●河川改修

・日野川（霞地区）で整備中



安全・確実な住民避難につなげるため防災対策

鳥取県における取組状況（令和8年度以降も継続実施）

【防災避難対策（ソフト対策）】

- ・『洪水・土砂災害』の概要、水害リスク、流域治水の取組、避難等を小学校を中心に防災学習、出前説明を実施した。
- ・防災フェスタに水防に関する展示を行い、防災意識の向上を図った。
- ・住民の防災意識向上、避難行動促進のため、子どもへの防災学習は非常に有効であるため、令和8年度も引き続き実施していく。

【主な実施状況】

- ・ 7月15日 修立小学校 5年生35名
- ・ 10月 2日 津ノ井小学校 4年生25名
- ・ 10月23日 米里小学校 4年生 23名
- ・ 9月20日 防災フェスタ開催（展示出店）
- ・ 11月10日 宝木地区住民防災学習
- ・ 6月26日 FM鳥取出演
- ・ 7月 8日 FM米子出演



土砂災害、流域治水の模型実験の様子

小学校における防災教育の実施



FM ラジオへの出演



FM米子(DAEZ FM)出演



防災フェスタの実施状況



【水防対策（ハード対策）】

- ・令和元年台風19号の甚大な浸水被害が発生したことを踏まえ、本県の課題の抽出及び取り組むべき対策を検討するため、有識者・関係行政機関で構成する「水防対策検討会」を設置した。
- ・検討会による提言をうけ、速やかに取組を進め早期に効果を発現させるべき内容について、事業を実施中。

【提言内容】

「できる限り越水による堤防決壊を遅らせて避難の時間を稼ぐ対策（粘り強い堤防）」及び「バックウォーター対策」を短期的に取り組むべき。

【事業内容】

- ①堤防強化対策（堤防舗装、大型土のう購入）
- ②浸水想定区域に関する住民理解促進（浸水表示板の設置）
- ③バックウォーター対策（樹木伐採・河道掘削）
- ④河川情報（水位計・河川監視カメラ）の発信強化
- ⑤ダム放流に関する安全・避難対策（説明会の開催）

堤防舗装の実施状況

- ・令和5年度予算までで、予定していた重要水防A区間及びバックウォーター箇所等の優先箇所の対策が完了した。
- ・今後は、未実施である重要水防区間Bや個別の優先すべき箇所を引き続き実施していく。

精進川（米子市尾高）



着工前



完成

大路川（鳥取市吉成）



着工前



完成

(4) 二級水系流域治水プロジェクトについて

令和3年度にモデル地区（大路川流域）で協議会を設立し、流域のあらゆる関係者と連携して流域治水の様々な取組を進め、令和6年度からその成果を全県に展開している。



流域治水の概要

近年激甚化・頻発化する水災害に対応するため、河川整備を促進させながら、流域のあらゆる関係者が協働で取り組む「流域治水」を推進している。

<流域治水の目的>

降雨流域全体（河川区域、集水域、氾濫域）で対策を総動員し、

- ①豪雨時に雨水を貯留すること等により、避難する時間を少しでも稼ぐ。
- ②取組全体を通して、防災意識を向上させ、住民の確実な避難行動に結びつける。

<取組事例>

河川整備・監視体制強化、防災学習、避難訓練、雨水貯留タンク、田んぼダム、校庭貯留など

⇒（ポイント）流域治水はあらゆる関係者が「自分事」として、取り組むことが重要である。

洪水被害軽減の種類

- ①河川の流下能力向上
- ②貯水による水位低下
- ③防災意識の向上
- ④早期避難
- ⑤情報発信による避難誘導



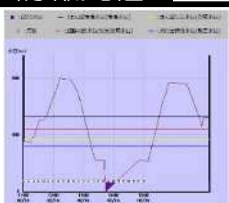
河川整備



計画規模（1/50等）での整備を推進

⇒整備に時間と費用を要する。
（大路川40年間、140億円）
（殿ダム27年間、888億円）

監視体制の強化、情報発信

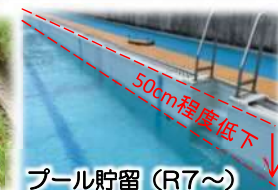


増水時の河川状況を確認するため、監視カメラ及び水位計を設置し情報発信



雨水貯留

雨水貯留タンク（R5〜）



河川への流入を抑えるため、様々な手法で雨水貯留対策を推進。これらの取組は初期雨量に対する効果、避難時間を確保する効果がある。

リスクの把握



県が想定最大規模の浸水想定区域図を作成し、市がハザードマップに反映
浸水深表示板による見える化も実施中

防災学習、イベント参加



2025岩倉小防災学習

2025防災フェスタ

2025鳥取市総合防災訓練

小学校、地元住民への防災学習を実施

避難訓練、備蓄



美保南地区避難訓練

災害発生時の被害を軽減するため、地区・町内単位で避難訓練や備蓄を実施

- モデル地区での取組をまとめた「大路川流域治水ビジョン」を活用しながら、令和7年度は、情報発信、雨水貯留タンク設置に合わせた防災学習等に注力し、流域治水の取組を周知の拡大を図りました。
- 令和8年度も引き続き、全県展開を進めていきます。

＜県内関係機関への周知＞

国、県、全市町村のほか関係機関が出席する「流域治水及び減災対策協議会」でビジョン内容を紹介



＜広報誌の発行＞

- ・大路川流域治水通信
- ・若葉台地区自治会だより

＜ラジオ出演＞

ラジオ出演による流域治水の紹介

9/19 FM鳥取(RADIO BIRD 82.5)

10/4 FM米子(DARAZ FM 79.8MHz)

＜防災学習の実施＞

県内小学校等で水害リスクや流域治水等の防災学習を実施

泊小学校 R6.6.18



賀祥ダム R6.12.7



修立小学校 R6.9.18



＜雨水貯留タンクの試行設置拡大＞

中部、西部にも雨水貯留タンクの試行設置を拡大(R6:4基、R7:4基)

＜防災フェスタ、グッズ配布＞

防災フェスタで流域治水模型による来場者への周知あわせて、流域治水グッズを配布

流域治水クリアファイル



R6.9.15 防災フェスタ



＜報道機関による情報発信＞

試行設置の状況をテレビ、新聞で取り上げていただき、広く住民に周知

R6.11.12 日本海新聞



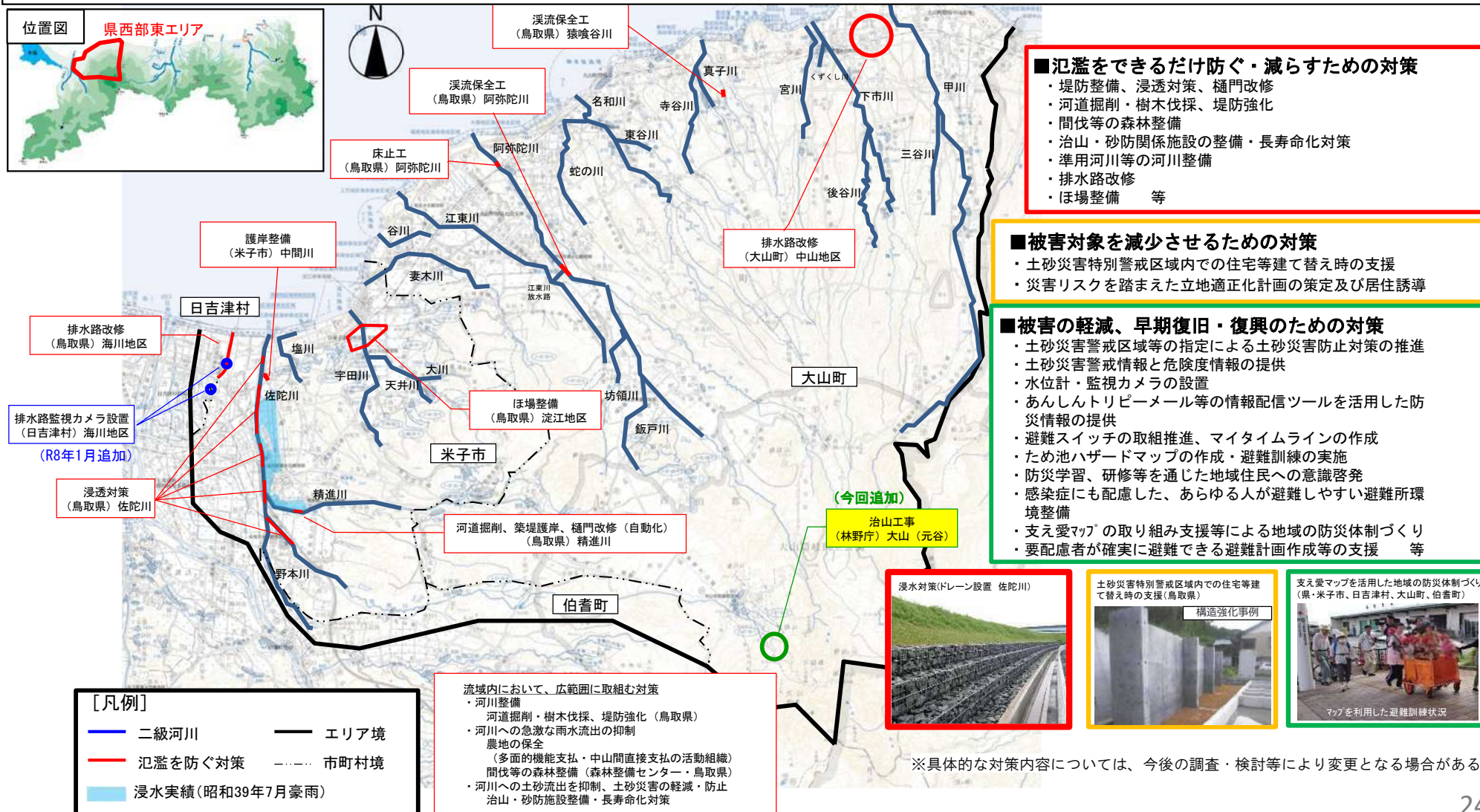
R6.11.14 日本海ケーブルネットワーク



○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。

このうち、佐陀川及び精進川については、観測史上最大降雨が発生した昭和39年7月の豪雨と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、洪水による被害の軽減を図ります。

○あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。



二級水系佐陀川外流域治水プロジェクト（県西部東エリア）

【ロードマップ】

【R8年6月更新予定】

- 流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】精進川の河道掘削・護岸整備を行う。
 - 【中期】佐陀川の堤防の浸透対策を行う。
 - 【中長期】河道掘削や樹木伐採を必要に応じて実施していくほか、逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

佐陀川外流域治水プロジェクト（県西部東エリア）

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	（佐陀川）浸透対策	鳥取県			
	（精進川）河道掘削・築堤護岸	鳥取県			
	（県管理河川）河道掘削・樹木伐採	鳥取県			
	間伐等の森林整備	森林整備センター 鳥取県			
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県、林野庁			
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県			
	（阿弥陀川）床止工	鳥取県			
	（阿弥陀川）溪流保全工	鳥取県			
	（猿喰谷川）溪流保全工	鳥取県			
	（中間川）護岸整備	米子市			
	（中山地区）排水路改修	大山町			
	（淀江地区）ほ場整備による雨水貯留対策	鳥取県			
	（海川地区）排水路改修	鳥取県			
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	鳥取県、米子市 大山町、伯耆町 日吉津村			
	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導	米子市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県			
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県			
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県、日吉津村			
	あんしんトリビュートメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県、米子市 大山町、伯耆町 日吉津村			
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県、米子市 大山町、伯耆町 日吉津村			
	ため池ハザードマップの作成・避難訓練の実施	米子市、大山町			
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県、米子市 大山町、伯耆町 日吉津村			
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	米子市、日吉津村 大山町、伯耆町			
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県、米子市 大山町、伯耆町 日吉津村			
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	米子市、日吉津村 大山町、伯耆町			

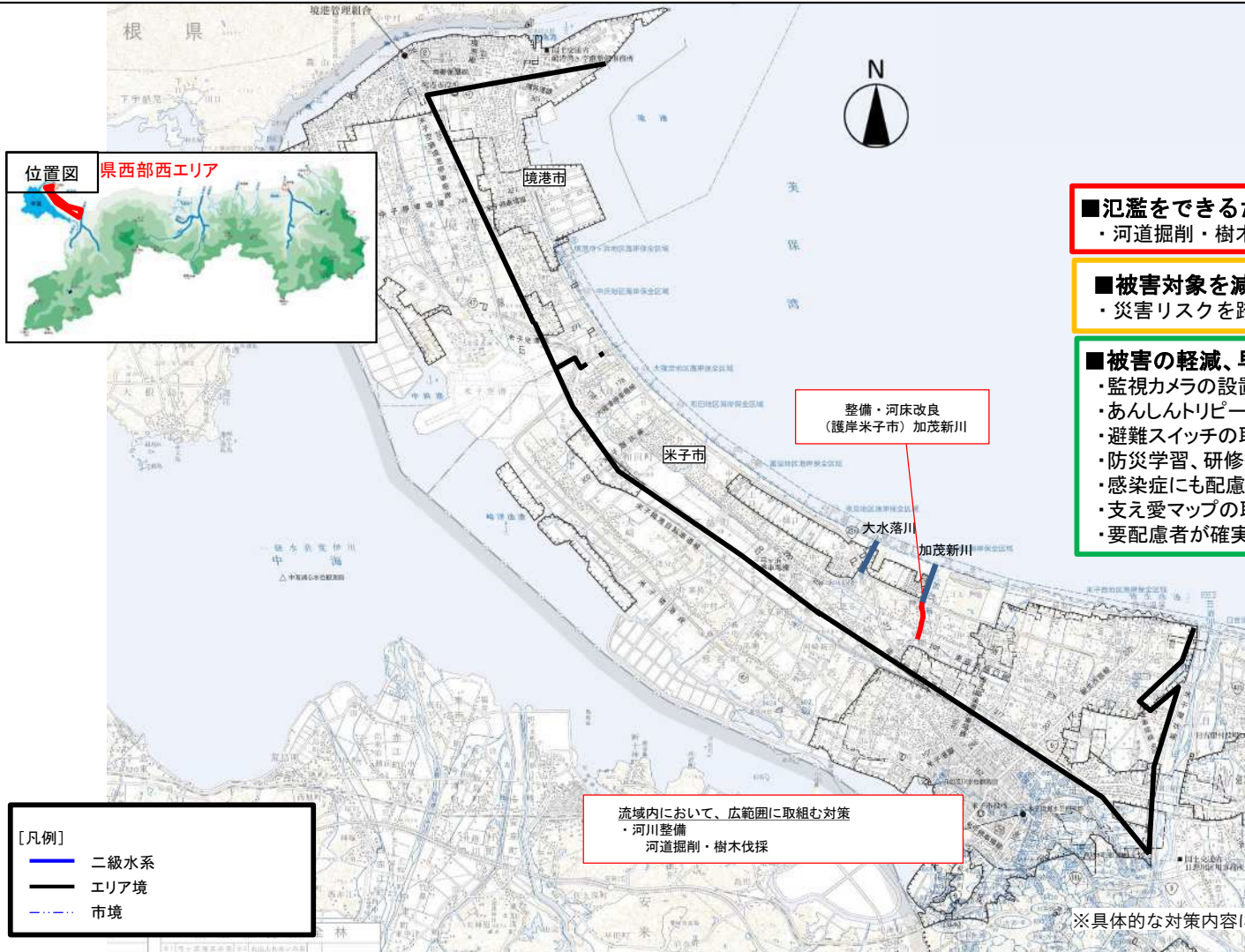
佐陀川外域流域治水プロジェクト（県西部東エリア）【フォローアップ資料】			R7年度末時点 取組状況			【評価凡例】 前倒しで実施：◎、予定通り実施：○、作業中：△、未着手：×、R7年度 対象外：ー				
区分	対策内容	実施主体	工程			地区等	評価	R7年度の 取組状況	R8年度の 取組予定	摘 要
			短期	中期	中長期					
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	(佐陀川)浸透対策	鳥取県					○	浸透対策工事	浸透対策工事	
	(精進川)河道掘削・築堤護岸	鳥取県					○	築堤護岸工、旧橋撤去、橋台工	上部工、帯工、取付道路工	
	(県管理河川)河道掘削・樹木伐採	鳥取県					ー	実績なし	予定なし(堆積状況に応じた維持対応を実施)	
	間伐等の森林整備	林野庁 森林整備センター 鳥取県				(林野庁) (森林整備センター) (鳥取県)	ー ○ ○	事業予定なし 65haの間伐等実施 間伐実施済み	事業予定なし 50haの間伐等予定 間伐継続実施	
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県					○	治山工事(赤松地区)	治山工事(赤松地区)	
	治山施設の整備・長寿命化対策	林野庁					○		大山(元谷)床園工事	
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県					○	砂防施設の整備(水穴川)	砂防施設の整備(水穴川)、長寿命化計画更新業務の実施	
	(阿弥陀川)床止工	鳥取県					ー	(進度調整)	(進度調整)	
	(阿弥陀川)渓流保全工	鳥取県					ー	予定なし(R6整備済)	予定なし(R6整備済)	
	(猿喰谷川)渓流保全工	鳥取県					ー	(進度調整)	渓流保全工	
	(中間川)護岸整備	米子市				(米子市)	○	護岸改修工事の実施(L=24m)	護岸改修測量設計の実施	
	(中山地区)排水路改修	大山町					ー	令和5年度事業完了		
	(淀江地区)ほ場整備による雨水貯留対策	鳥取県				米子市淀江町	○	ほ場整備工事	ほ場整備工事	
	(海川地区)排水路改修	鳥取県				日吉津村	○	排水路改修工事	排水路改修工事	
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	鳥取県 米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(鳥取県) (米子市) (日吉津村) (大山町) (伯耆町)	○ ○ ー ー ー	建て替え時の支援として市町への補助金を確保(実績なし) 補助制度あり R7活用実績はなし 対象地域なし 案件なし 案件なし	引き続き補助制度あり 対象地域なし 案件があれば相談検討を行う。 案件なし	
	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導	米子市				(米子市)	○	策定した計画に基づく居住誘導	策定した計画に基づく居住誘導	
	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県					○	地形変化箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施	高精度な地形情報により抽出した新規調査候補箇所等の基礎調査を実施	
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県					○	気象台と連携し情報発信(情報提供)	気象台と連携し情報発信(情報提供)	
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県・県土 鳥取県・農地 日吉津村					ー ○ ○	(進度調整) ため池遠隔監視装置(カメラ・水位センサー)の運用 ため池遠隔監視装置(カメラ・水位センサー)の設置・運用	設置予定あり(野本川) ため池遠隔監視装置(カメラ・水位センサー)の運用 ため池遠隔監視装置(カメラ・水位センサー)の運用	
	あんしんトリビュールメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(鳥取県) (米子市) (日吉津村) (大山町) (伯耆町)	○ ○ ○ ○ ○	あんしんトリビュールメール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のSNSを活用した防災・危機管理情報の発信、気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」の運用を実施する。また、総合防災情報システムを活用し県民向けに避難情報や避難所情報等を発信する防災Webの運用も開始 情報ツールを活用した防災情報の提供 防災無線受信アプリによる情報提供 SNS等の活用により防災情報を提供 適宜情報配信	あんしんトリビュールメール、アプリのほか、気象情報や河川・道路カメラ映像を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」、避難情報や避難所情報等を発信する防災Webといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のSNS、Yahoo！防災といった民間サービスを活用した防災・危機管理情報の多様な手段を用いた情報発信を行う。 引き続き実施 継続実施 継続実施 適宜情報配信	危機管理部
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(鳥取県) (米子市) (日吉津村) (大山町) (伯耆町)	○ ○ △ ○ ○	専門的知識を有する講師を派遣して、避難スイッチ決定に必要な知識習得の研修実施を支援 避難ノートを活用した啓発の推進 検討の実施 防災マップを活用した啓発の推進 なし	専門的知識を有する講師を派遣して、避難スイッチ決定に必要な知識習得の研修実施を支援 引き続き実施 継続実施 HP等で周知	危機管理部
	ため池ハザードマップの作成・避難訓練の実施	米子市 大山町				(米子市) (大山町)	○ ○	引き続き支援を実施(R4にため池HM完成済) 令和3年度にため池ハザードマップ作成済み	引き続き支援 継続実施	
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(鳥取県) (米子市) (日吉津村) (大山町) (伯耆町)	○ ○ ○ ○ ○	防災教育の実施(大山小) 風水害を想定した訓練の実施 防災訓練の実施による意識啓発 自治会等からの要請により防災研修を実施 小学校へ防災学習として講演を実施	防災教育の実施(継続) 継続実施 継続実施 継続実施 防災講演会や小中学校への講師の派遣	
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(米子市) (日吉津村) (大山町) (伯耆町)	○ ○ ○ ○	資機材整備、マニュアルの改訂による対応の配慮 資機材の整備 避難所運営マニュアルに沿った環境整備 備品の整備	引き続き実施 継続実施 継続実施 必要物品等の購入	
支援愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	支援愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(鳥取県) (米子市) (日吉津村) (大山町) (伯耆町)	○ ○ ○ ○ ○	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支援愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進 取組みに対する地域への支援等の実施 社会福祉協議会へ支援愛マップ作成支援 町社会福祉協議会と連携して自治会等でのマップ作成を支援	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支援愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進 引き続き支援 継続実施 継続実施	危機管理部
	支援愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(鳥取県) (米子市) (日吉津村) (大山町) (伯耆町)	○ ○ ○ ○ ○	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支援愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進 取組みに対する地域への支援等の実施 社会福祉協議会へ支援愛マップ作成支援 町社会福祉協議会と連携して自治会等でのマップ作成を支援	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支援愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進 引き続き支援 継続実施 継続実施	危機管理部
	支援愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(鳥取県) (米子市) (日吉津村) (大山町) (伯耆町)	○ ○ ○ ○ ○	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支援愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進 取組みに対する地域への支援等の実施 社会福祉協議会へ支援愛マップ作成支援 町社会福祉協議会と連携して自治会等でのマップ作成を支援	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支援愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進 引き続き支援 継続実施 継続実施	危機管理部
	支援愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(鳥取県) (米子市) (日吉津村) (大山町) (伯耆町)	○ ○ ○ ○ ○	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支援愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進 取組みに対する地域への支援等の実施 社会福祉協議会へ支援愛マップ作成支援 町社会福祉協議会と連携して自治会等でのマップ作成を支援	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支援愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進 引き続き支援 継続実施 継続実施	危機管理部
要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(米子市) (日吉津村) (大山町) (伯耆町)	○ ○ ○ ○	部局を横断した計画作成の支援 作成済み(同意のある方のみ) 自主防災組織が個別避難計画を作成する活動に対し支援 作成済み(同意のある方のみ)	引き続き支援 継続実施 継続実施 継続実施	

二級水系
流域治水プロジェクト

加茂新川外流域治水プロジェクト（県西部西エリア）【位置図】

～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。
- あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削・樹木伐採等

■被害対象を減少させるための対策

- ・災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・監視カメラの設置
- ・あんしんトリプメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供
- ・避難スイッチの取組推進、マイタイムラインの作成
- ・防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発
- ・感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備
- ・支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり
- ・要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進 等

支え愛マップを活用した地域の防災体制づくり
（県・米子市、日吉津村、大山町、伯耆町）



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

加茂新川外流域治水プロジェクト（県西部西エリア）
【ロードマップ】

●流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期～中長期】逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

加茂新川外流域治水プロジェクト（県西部西エリア）

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削・樹木伐採	鳥取県			
	（加茂新川）護岸整備・河床改良	米子市			
被害対象を減少させるための対策	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導	米子市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラの設置	鳥取県			
	あんしんトリピーメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 米子市、境港市			
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 米子市、境港市			
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 米子市、境港市			
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	米子市、境港市			
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 米子市、境港市			
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	米子市、境港市			

加茂新川外域流域治水プロジェクト(県西部西エリア)〔フォローアップ資料〕			R7年度末時点 取組状況			〔評価凡例〕 前倒しで実施：◎、予定通り実施：○、作業中：△、未着手：×、R7年度 対象外：－				
区分	対策内容	実施主体	工程			地区等	評価	R7年度の取組状況	R8年度の取組予定	摘要
			短期	中期	中長期					
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削・樹木伐採	鳥取県					－	予定なし(堆積状況に応じた維持対応を実施)	予定なし(堆積状況に応じた維持対応を実施)	
	(加茂新川) 護岸整備・河床改良	米子市				(米子市)	◎	護岸改修工事の実施(L=201m)	護岸改修工事の実施(L=160m)	
	(上福原五丁目地内ほか)雨水排水対策	米子市				(米子市)	△	測量設計実施、工事実施(L=224m)	工事実施(R431号区間(L=113m))	
	(東福原四丁目・五丁目地内)雨水排水対策	米子市				(米子市)	○	測量設計実施、工事実施(L=78m)	工事実施(L=100m)	
	(車尾・中島地内)雨水排水対策	米子市				(米子市)	○	工事実施(L=205m)	工事実施(L=192m)	
被害対象を減少させるための対策	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導	米子市				(米子市)	○	策定した計画に基づく居住誘導	策定した計画に基づく居住誘導	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラの設置	鳥取県					－	予定なし(当面の予定箇所は完了)※R5設置済	予定なし(当面の予定箇所は完了)※R5設置済	
	あんしんトリビメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 米子市 境港市				(鳥取県)	○	あんしんトリビメール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のSNSを活用した防災・危機管理情報の発信、気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」の運用を実施する。また、総合防災情報システムを活用し県民向けに避難情報や避難所情報等を発信する防災Webの運用も開始。	あんしんトリビメール、アプリのほか、気象情報や河川・道路カメラ映像を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」、避難情報や避難所情報等を発信する防災Webといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のSNS、Yahoo! 防災といった民間サービスを活用した防災・危機管理情報の多様な手段を用いた情報発信を行う。	危機管理部
						(米子市)	○	情報ツールを活用した防災情報の提供	引き続き実施	
						(境港市)	○	防災行政無線、トリビメール、市HP、車両広報等の手段を確保	継続実施	
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 米子市 境港市				(鳥取県)	○	専門的知識を有する講師を派遣して、避難スイッチ決定に必要な知識習得の研修実施を支援	専門的知識を有する講師を派遣して、避難スイッチ決定に必要な知識習得の研修実施を支援	危機管理部
						(米子市)	○	避難ノートを活用した啓発の推進	引き続き実施	
						(境港市)	○	出前講座、消防防災フェア等を活用した意識啓発	継続実施	
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 米子市 境港市				(鳥取県)	－	実績なし ※エリア外ではあり。	小学校等での防災教育の実施	
						(米子市)	○	地域住民等への出前講座等の実施	引き続き実施	
						(境港市)	○	出前講座、消防防災フェア等を活用した意識啓発	継続実施	
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	米子市 境港市				(米子市)	○	資機材整備、マニュアルの改訂による対応の配慮	引き続き実施	
						(境港市)	○	感染症に対応した設備品の点検・補充、避難所環境整備のための資機材整備	継続実施	
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 米子市 境港市				(鳥取県)	○	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	危機管理部
						(米子市)	○	取り組みに対する地域への支援等の実施	引き続き支援	
						(境港市)	△	市社協に加え、防災担当課・福祉担当課の連携を推進	継続実施	
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	米子市 境港市				(米子市)	○	部局を横断した計画作成の支援	引き続き支援	
						(境港市)	△	策定した個別避難計画の点検・更新	継続実施	

・各機関の取組について

米子市の取組

〈具体的取組〉

- ・関係各課等と連携し、学生が水害を想定したXR防災コンテンツや触覚センサーの制作・発表活動の支援および助言を行った。
- ・浸水区域や避難に関する意識啓発のため、ハザードマップやよなご避難ノートを活用して学校、自治会等にて出前講座等を行った。
- ・小学校において実地にマンホールトイレを設営し、手順を確認するとともに、実施要領を整理する等、マンホールトイレの運用能力向上を図った。併せて、公民館祭において上物の展示を行った。
- ・防災担当者の防災力向上のため、国際文化アカデミー研修等に参加し、水害時における図上対応訓練を行った。



水害XR体験や接触コンテンツの作成支援



備蓄等更新及び資材整備・整理



境港市の取組

ハード・ソフト両面での取り組みを実施

- ◆ハード面の取り組みとして、令和6年度に雨水管理総合計画を策定し、令和7年度に「内水ハザードマップ」を作成
令和8年5月市報に「内水ハザードマップ」を織り込み全戸配布、6月より各地区で住民説明会を開催する予定
- ◆ソフト面の取り組みとして、保育園、学校、自治会、企業等への防災訓練支援、出前講座のほか、市民の防災意識を啓発するため「さかいみなと消防・防災フェア」を継続して実施

雨水管理総合計画策定 (R6)



内水を含む水害ハザードマップ作成 (R7)



出水期の排水ポンプ設置



小学校での防災授業



消防と合同での出前講座



自治会での出前講座



令和7年10月5日「さかいみなと消防・防災フェア」を開催、本年度(第4回)は10月4日に開催

消防団活動展示



起震車による地震体験



自衛隊・消防・警察棟による各種展示



日野町の取組

防災担当者による防災学習 地域での防災に関連した取組推進

- ・ 防災担当者による防災学習及び防災講演会の実施
防災講演会 1回(日野学園6年生)
 - ・ 自治会等での防災に関連した取組の推進(防災グッズの配布)
- ※鳥取県西部地震25年特別事業
12自治会、3団体

気象防災アドバイザー活用促進事業 (職員初動マニュアルの作成)

- ・ 気象庁「気象防災アドバイザー活用促進事業」の採択を受け、同アドバイザーの支援を受けながら「職員初動マニュアル」の作成、職員研修会を実施
- ・ 令和8年度以降も継続し、マニュアルの検証、見直しによる職員の災害対応能力の向上を図る。

その他の取組

- ・ 全町一斉防災訓練の実施(毎年10月第1週日曜日)
- ・ WEBハザードマップの公開(町HP、情報配信アプリ)
- ・ 避難所物資の分散備蓄(町内8カ所の指定避難所)
- ・ 資機材の購入(ポータブル電源2台)
- ・ 防災士資格取得促進(R7実績2名)



日南町の取組

防災専門員による出前講座

水害に対する意識向上と知識習得を目的に、防災専門員による出前講座を実施

町内の自治会、集落単位または小中学校などで出前講座を実施

地域ごとの危険箇所や河川の浸水想定に関する説明及びワークショップを実施

R7年度実績 19回 受講者数 565名

水防訓練の実施

大規模水害の未然防止・軽減、より実効性ある水防体制の確立等を目的に、水防訓練を実施

公設消防団及び自衛消防団が参加し土のう作成及び改良積土のう工法による演練を実施した他、備蓄用として作成した土のうを各自治会に配分



総合防災訓練の実施

豪雨災害を想定し、発災から終息までの一連の対応及び個別避難計画に基づく避難要領を検証

議会・職員、日南病院・日南福祉会のほか下記の機関が参加

- ・自治協議会・各自治会
- ・自衛消防団
- ・町消防団
- ・江府消防署・黒坂警察署
- ・鳥取県日野振興センター等



防災拠点の備蓄品整備

災害時の防災拠点となる避難所へ、災害時に必要な資機材の備蓄品整備を実施

R7年度配備資機材

- ・封筒型シュラフ（18個）
- ・保存食（アルファ米・水 等）
- ・生理用品（各種タイプ）



江府町の取組

令和7年度の主な取組

- ・広報誌に令和8年5月末から始まる、新防災気象情報の運用について掲載し迅速な避難行動を啓発する。
- ・小学校避難訓練にて速やかで安全な避難の重要性について説明する。
- ・災害ケースマネジメント実施計画を策定する。

総合防災訓練等の実施

- ・土砂災害警戒地域・土砂災害特別警戒区域が多数存在する本町において、土砂崩れによる孤立集落発生及び通信途絶を想定。Stalinkを設置し災害対策本部との情報伝達訓練を実施する。

令和8年度の取り組み予定

- ・地元企業と連携した取り組み
日野川流域治水オフィシャルサポーターに認定された地元企業と協力して流域治水への取り組みや考え方を町内に広く啓発する。
- ・出かける役場推進室の機動力を活用し、災害時の情報収集・通信体制の確保及び避難所におけるWi-Fi環境の確保体制など訓練する。

令和8年5月下旬(予定)より
気象の警報などが大きく変わります

警戒レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル1(注意)	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル2(警戒)	レベル4 氾濫注意警報	レベル4 大雨注意警報	レベル4 土砂災害注意警報	レベル4 高潮注意警報
警戒レベル3(厳重警戒)	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル4(危険)	レベル2 氾濫注意警報	レベル2 大雨注意警報	レベル2 土砂災害注意警報	レベル2 高潮注意警報
警戒レベル5(極めて危険)	レベル1 氾濫警報	レベル1 大雨警報	レベル1 土砂災害警報	レベル1 高潮警報

- ・警報・注意警報の発令時に「レベル」が付記されます
- ・河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります(危険度の厳格化など)
- ・「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

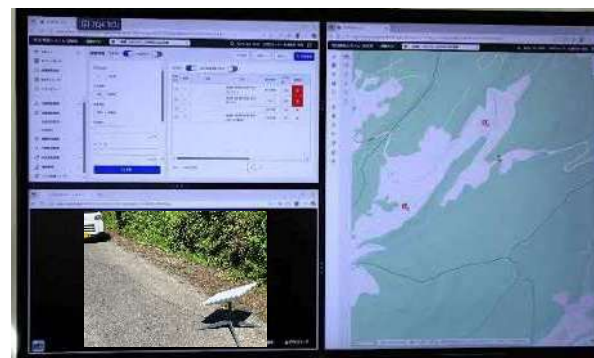
令和8年5月下旬(予定)から新たな防災気象情報の運用を開始します。今回の改善により、避難情報の5段階の警戒レベルに対応し、避難の判断をしやすくなります。レベル4やレベル3の情報が発表された場合には、気象庁によるウェブサイト「キキクル」や河川の水位情報等の情報を確認して早めの避難を心がけてください。

自治体から警戒レベル4避難指示や警戒レベル3高齢者等避難が発令された際には速やかに避難行動をとってください。

また、避難指示等が発令されていなくても、警戒レベル4や警戒レベル3に相当する防災気象情報が発表された際には、気象庁によるウェブサイト「キキクル」や河川の水位情報等を用いて自ら避難の判断をしてください。

避難にあたっては、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことに加わらず、川や崖から少しでも離れた、近くの堅実な建物の上層階に避難するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。

日頃の取り組みとして、スマートフォンに「キキクル」や「鳥取県河川情報」のホームページをブックマークする他、散歩しながら自宅から避難所までの経路の確認を行うこともおすすめです。



防災学習、研修等を通じた住民への意識啓発

学校の児童、生徒向けの防災学習や地域住民向けの勉強会を実施することにより、防災気象情報の知識普及や命を守るために必要な行動の習得に必要な防災意識の向上を図ることが目的。

○広報活動

防災担当者、住民を対象とした防災気象講演会の開催や、小学校の児童を対象としたイベント等に参加し天気への関心を深めていただくとともに、防災意識を高める取り組みの推進。



防災気象講演会

○災害時要援護者向けの勉強会の実施

災害時に情報の入手が困難な高齢者や障がい者、外国人などを対象に、避難行動に繋がる防災情報の入手や活用方法を解説。



外国人防災勉強会



おてんきひろば(倉吉図書館)



○大雨による災害を想定した防災学習を実施

過去の台風・大雨による被害状況の写真などを活用して、大雨によりどんな災害が発生するのか、自分たちが住んでいる地域でどんな災害が想定され、どのように避難行動を取るのか考えさせる。



防災学習(河原第一小学校)

県危機管理部の取組

○地域の支え愛マップづくりを通じた地域防災力向上

- ・「支え愛マップ」は地域住民が主体となって作成するもので、平成24年度から取組開始。
- ・県、市町村、県社協、市町村社協が支援し、作成を促進。

○各種ツールによる県民への周知

- ・あんしんトリピーメール、防災アプリ(あんしんトリピーなび)等の多様なツールを活用し、避難情報や警報など、いち早く情報を届ける。

○広域避難の取組推進

- ・市町村の行政界を超えた事前の広域避難について市町村と検討を開始。

○災害ケースマネジメントの推進

- ・鳥取県中部地震を契機に、被災者一人ひとりに寄り添った生活復興支援を平成30年4月から開始。
- ・令和4年10月に県、市町村、専門士業団体、県社協等で構成する「災害ケースマネジメント協議会」を設立し、関係機関が連携して災害ケースマネジメントに取り組む体制を構築。

＜支え愛マップづくりの様子＞



＜災害ケースマネジメント：訪問調査の様子＞



田んぼダムの取組拡大に向けて

【R5年度までの取組】

●田んぼダムの効果を見える化した「田んぼダムモデルほ場」を設置。実証研修と併せ、不安視される水稻への生育影響調査を実施した。

- ・参加した98%の方が田んぼダムの効果や実施方法(堰板設置等)を理解された。
- ・田んぼダム想定区画で水稻を作付。収量・品質面ともに生育への影響は無し。

■水稻の生育影響調査

- ・田んぼダム想定区画では豪雨(数回湛水。20cm・2日間)を再現。収穫後、収量・品質を比較。
- (結果)生育収量への影響は確認されない。



モデルほ場の設置(田んぼダムの効果の実証)



実証研修の様子
(8回開催。延べ392名が参加)

【R6年～R7年度の取組】

●多面的機能支払交付金の活動組織を対象とした出前研修会を実施。

R7年度は、東部地域の取組農家の声を盛り込み、西部地域へ普及・展開。

取組に対する農家の不安を解消

- ・R7年度は、西部地域を中心に6市町(合同開催含む)で計5回。地元、町の事業担当者や防災担当者等、延べ300名以上が参加。
- ・取組農家の声(取組のきっかけ、堰板の管理方法、畦畔や収量・品質に関する影響)を紹介し、取組に対する不安解消に努めた。
- ・多面的機能支払交付金で取り組む場合の加算措置制度を含め、外部人材活用による「農山村ボランティア」や「むら・まち支え合い共生の里」事業の提案・PR。(例：ボランティアを活用した田んぼダム用堰板の作成などを提案)

●八頭町日田地区で畦畔補強や法面保護工等の水田貯留機能向上に向けた整備を開始。

- ・ほ場整備から約40年経過し、畦畔の崩れが散見、水管理及び畦畔の草刈の管理に支障を来している地区において、R7年度から国事業(農地耕作条件改善事業)を活用し、畦畔補強や法面管理省力化を目的としたカバープランツの導入に着手。
- (背景：令和3年8月豪雨、令和5年台風7号の豪雨を契機に地元の水害対策に対する意識が向上)
- ・田んぼダムに安心して取り組めるよう基盤を整備し、豪雨による被害防止を図る。



畦畔補強の施工状況



畦畔補強後



田んぼダム実施想定エリア

<取組成果>

●R7年度から新たに10地区(内、千代川流域5地区)で取組が開始される等、着実に浸透。

(西部地域でも、R7年度から南部町で1地区、R8年度から日南町で1地区の取組開始予定) ※下段の()は千代川流域の数値

R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度(累計(見込み))	
地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)
10	60	17	147	21	271	25	328	35	489
(9)	(54)	(14)	(121)	(16)	(185)	(18)	(190)	(23)	(231)



出前研修の様子
(5回開催。延べ300名が参加)



資料の一例(中山間地の取組農家の声)



資料の一例(平地の取組農家の声)

多面における田んぼダムの取組（R7年度）



米子県土の取組 「的確な避難行動のための取組」

○小中学校などと連携した防災教育

防災意識向上への「防災教育」、河川等の役割を理解してもらう「河川(砂防)学習会」を実施

【防災教育(自然災害「洪水・土砂災害」、土石流模型実験、ドローン飛行)】

◇令和6年度実施状況

鳥取県消防学校(新規採用消防職員)、伯耆町立二部小学校(3・4年生)、大山町立大山小学校(5年生)

◇令和7年度実施状況

伯耆町立二部小学校、八郷小学校(4年生)、大山町立大山小学校(5年生)、南部町立会見小学校(6年生)

◇令和8年度の予定

学校の防災教育への専門家派遣事業を継続実施

二部小学校



土石流模型実験

八郷学校



自然災害(洪水・土砂災害)の座学

大山小学校



土石流模型実験

米子県土の取組 「的確な避難行動のための取組」

○災害リスクの現地表示(まるごとまちごとハザードマップ)

想定浸水深表示板設置の推進

「ハザードマップの見える化」により、水害意識の向上・防災情報の更なる周知を進める。

・市町村と連携し、公民館などの公共施設等に設置 ※ 県が浸水表示板を提供、町が設置

■南部町 令和2～4年度 32箇所完了、令和8年度 1箇所予定 ■米子市 令和3年度 1箇所完了

■日吉津村 令和4年度 18箇所完了 ■伯耆町 令和5年度 4箇所完了

令和2～4年度 南部町



令和3年度 米子市



令和4年度 日吉津村



令和5年度 伯耆町



米子県土の取組 「河川等への流出を抑制する取組」

○雨水貯留タンクの設置による浸水対策

建物内の雨水貯留施設

設置した施設の利用者に目に触れることで、雨水貯留タンクの認知度を向上させるとともに、併せて防災学習を実施し、地域住民の防災意識の向上を図る。

・市町村と連携し、公民館や小学校などの公共施設・学校施設等に設置

■令和6年度 東西町コミュニティーセンター 1基(南部町)

■令和7年度 南部町立会見小学校 1基

■令和8年度以降 要望に応じて設置



日野県土の取組 「防災学習会・出前講座」の実施

日野振興センターでは、地域の皆さんの防災意識を高めいただくため、「ひの防災レンジャー」を組織して、地域の方々や小学校を対象とした防災学習会、出前講座を行っています。

令和2年度の実施状況

6/15 江府中学校(40名)

9/4 霞地区自治会(30名)

10/5 江府町こどもサロン(24名)

10/17 まなびや-ひの谷学舎-(15名)

令和3年度の実施状況

コロナ禍により開催中止

令和4年度の実施状況

10/31 江府町こどもサロン(26名)

2/16 日南小学校(22名)

令和5年度の実施状況

3月 要援護者施設訪問(避難対策意見交換)

令和6年度の実施状況

9/17 江府町こどもサロン(約20名)

11/19 日南小学校5年生(約30名)

12/19 奥大山江府学園5年生(約10名)

令和7年度の実施状況

7/2 池ノ内自治会(約20名)



R7.7.2 池ノ内自治会



R6.11.19 日南小学校



R6.12.19 奥大山江府学園

令和7年度の取組状況(鳥取県:河川課)

＜防災学習、イベントによる啓発活動＞

- ・ イベント出展やラジオ出演による積極的な広報活動を展開している。
→ 地元からの要望があり、「美保南地区デイキャンプ」「若葉台フェスティバル」「宝木地区 雨水貯留タンク視察」「鳥取市総合防災訓練（稲葉小）」に参加した。
- ・ 雨水貯留設置をキッカケとした防災学習について学校関係者へ呼びかけ、防災学習の実績が増えている。
→ 大路川流域の校長先生に防災学習の効果や流域治水の取組をPRし、防災学習の実施を提案した結果、若葉台小学校、津ノ井小学校、米里小学校での防災学習が実現した。



防災フェスタ（米子市開催）



鳥取市総合防災訓練（稲葉小）



美保南地区デイキャンプ



宝木地区雨水貯留タンク視察
（面影地区公民館）



若葉台地区フェスティバル
& 地区文化祭



青翔開智中学校 職場体験
→ 「流域治水」を研究テーマに選定



防災学習（米里小学校）



ラジオ出演

県河川課の取組 樋門操作の省力化推進中！

県管理の手動式樋門(199基/全238基)のうち、氾濫規模等から優先順位が高い樋門160基について、「操作員の負担軽減」、「開閉の迅速化」による省力化を目的として、『樋門の電動化』を推進しています。

【事業背景】

- ・樋門は**地域住民**(市町村委託)が**操作**している。
- ・開閉作業は1基10分も要する**重労働**である。
- ・**操作員の高齢化**が進む中、負担軽減の要望が上がっている。
- ・**ボタン操作**による電動化は**多額の費用と時間を要する**。

⇒大規模な施設改修は時間もお金もかかるため、
手動樋門を電動ドリルで開閉できるよう改造し、整備する。

【事業スケジュール】

予算年度	基数	状況
令和4年度	51	51基完了
令和5年度	58	58基完了
令和6年度	23	23基完了
令和7年度	26	26基完了
令和8年度	2	実施予定
合計	160	

【効果事例】 ⇒252秒の時間短縮(労力も軽減！)



5～10分近くの全身運動💦



指先一つで上げ下げ可能。
しかもあっという間！



電動ドリルでの
作業状況

【お知らせ】

※河川課HPで、
導入効果、操作方法等
を公開しています。



動画①
(効果検証)



動画②
(ドリル取扱)



動画③
(樋門操作)



(4) その他・情報提供

雨水貯留タンク設置の取組

令和8年6月5日
鳥取県県土整備部河川港湾局河川課

雨水貯留タンクの取組状況(鳥取県:河川課)

＜雨水貯留タンク試行設置の推進＞

- ・若葉台小、福部町総合支所、打吹小、会見小の4箇所に1000ℓの雨水貯留タンクを設置。
- ・令和6年度に引き続き、全県展開を進めている。(合計11基 設置完了)



鳥取市立若葉台小学校



福部町総合支所



倉吉市打吹小学校



南部町立会見小学校

＜キャラクター、グッズ制作による効果的な広報＞

- ・治水のイメージキャラクターとして雨水貯留タンクをモチーフにした「ためぞうくん&はなみちゃん」を制作し、防災学習や防災フェスタ等のイベントや各種媒体に用いて、一般の方に親しみやすく、わかりやすい普及啓発に努めています。



啓発グッズ【自由帳、シール】



防災学習やイベントで配布



啓発チラシ

雨水貯留タンク設置の取組について(鳥取県、鳥取市、倉吉市、湯梨浜町)

これまでの取組

公共施設への試行設置

「雨水貯留タンク」を実際に見て、治水上の役割と雨水の活用を理解していただくよう、公共施設等での試行設置(1000ℓ)を全県で進めている。



美保南小学校(鳥取市宮長)



小規模多機能施設じみの郷
(湯梨浜町上浅津)

グッズ制作による効果的な広報

- 雨水貯留タンクのキャラクター「ためぞうくん&はなみちゃん」を制作
- 一般の方にわかりやすい広報活動



啓発グッズ
(自由帳、シール)

要望の声の広がり

- モデル地区(大路川流域)の協議会やイベントの参加者から多くの要望や問合せがある。
- 住宅メーカーから要望がある。
- 美保南地区と市の懇談会で地区が強く要望された。



2025鳥取市総合防災訓練



2025宝木地区出前講座

災害を自分事として捉える
防災意識の向上に寄与

実施内容(雨水貯留タンク設置の補助制度)※予算要求中

<補助対象>

県内の住宅等に雨水貯留タンクを設置する個人等(行政が所有する公共施設を除く)

<事業主体>

市町村(間接補助)【令和8年度実施:鳥取市、倉吉市、湯梨浜町】

<補助対象経費>

雨水貯留タンク設置に係る経費(材料費、施工費)

<補助割合>

市町村 1/3、県 1/3、個人 1/3

<上限>

1個人あたりの県補助金2万円を上限
(材料費2~3万円+設置費2~3万)×1/3

家庭用タンクの事例



容量120ℓタンク

取組の拡大

期待される効果

住民自らが雨水貯留タンクを設置するきっかけを創出することで、

- ・設置時に町内単位で計画している防災学習や設置者の口コミ、SNSを通じた情報発信により、**流域全体の防災意識向上と自主的な避難行動の定着**を促す。
- ・流域全体での相互理解を深め、特に田んぼダム等の取組の意欲が高まり、**雨水貯留対策の相乗的な効果**を生み出す。
- ・防災及び公共事業への理解と共感が醸成され、**河川整備(ハード対策)の円滑な事業推進**につながる。

ぼうさいこくたい2026in鳥取

ぼうさいこくたいの開催

- 中部地震10年の節目に、防災関係者が一堂に会する日本最大級の防災イベント『防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）』を令和8年10月17日(土),18日(日)に倉吉市で開催。
- 全国各地から多くの来場が見込まれる本大会の開催を契機として、鳥取県の先進的な防災分野の取組のみならず、食・観光や産業等の特色・魅力を広く全国に向けて発信。

ぼうさいこくたい2026概要

開催日	令和8年10月17日(土),18日(日)
開催場所	鳥取県倉吉市(主会場:エースパック未来中心)
鳥取開催の特色	○中部地震10年を踏まえたセッション ○鳥取県の先進的な取組(災害ケースマネジメント、支え愛マップ等)の発信・共有 ○若者・女性視点による多様な防災関連企画(例)学生による「鳥取版HUG(避難所運営ゲーム)」の体験 ○防災訓練・訓練体験 等

鳥 取 県
情報ポータルサイト
“鳥取県の情報 盛りだくさん!!”

行き方(交通) 併催イベント 豊富な観光名所 食の魅力

ぼうさい支え愛

○大会情報について、詳しくはポータルサイトから ⇒



鳥取県併催イベント ～見て・食べて・体験して・行動へ！～

防災訓練・体験

放水・煙脱出体験・防災運動会など楽しく学べる体験



防災産業展示

県内企業の技術・防災展示、地震体験車、消防車等働く車展示



食パラダイス鳥取

鳥取のグルメ・スイーツ 防災食・炊き出しなど

